

3月定例会では、多くの条例等を慎重に審議しました。その中で、賛否が分かれたものや町民のみなさんの生活に直結したものを紹介します。

条例の制定・一部改正

町長及び副町長の給与等に関する条例／教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正

町長、副町長、教育長の給料を減額前に戻す ……ともに賛成多数で可決

この条例の内容は 行財政改革により、平成17年度から毎年度町長20%、副町長と教育長15%の給料を減額し、21年度からは減額後の額が条例化されました。近隣町村との均衡を欠くため、報酬等審議会の答申を踏まえ、給料を減額前の額に戻したいというものです。

こうなります 4月から、町長の給料は月額60万4800円から75万6000円に、副町長は月額54万7400円から64万4000円、教育長は月額51万3400円から60万4000円になります。

反対 職員給与引き下げの今、なぜ元に戻すのか
田母神節子議員

職員は実質平均で4000円からの賃金の引き下げ。この時期に、上に立つ町長・副町長・教育長の給料を元に戻す(実質15万円から9万円の大幅上げ)ことに疑問を感じる。職員の生の声が聞かえないのか。

賛成 他町村との均衡や審議会答申からも妥当
眞下 昇議員

給料減額は、合併協議の破綻で単独行政を担う者の姿勢と受け止めた。同様な事態でも恒久的な引き下げ例はなく、他町村との均衡からも、「従来までの引き上げが妥当」との報酬等審議会答申もいただいている。

町長の給料の特例に関する条例の制定

町長の給料月額額は27年度も48万3840円 ……賛成多数で採択

この条例の内容は 27年度の町長の給料について、規定の給料月額を20%減額し、さらにその額から20%減額した額にするというものです。選挙公約の「町長報酬の2割カット」の実現のため、提出されました。

こうなります 町長の給料月額は48万3840円になります。

町職員の給与に関する条例の一部改正

平均1・59%、月額4727円の減額 ……賛成多数で可決

この条例の内容は 人事院勧告等に基づき、給料月額を引き下げるものです。初任給は変更せず、若い世代の引き下げ率を少なくし、50歳台後半層が多い号級を最大4・4%引き下げ、平均改定率1・59%減、平均で月額4727円引き下げとするものです。この改定に伴い生じた減額保障として、差額は平成30年3月まで補填されます。

こうなります 一般事務職員の平均給料月額は29万2360円となります。

反対 これ以上の給与引き下げはすべきでない
田母神節子議員

大企業がようやく賃上げ傾向にある中、人事院は平均2%の引き下げを勧告しているが、これではやる気や意欲は生まれない。また町長・副町長・教育長の給料は、引き上げとなっている。

賛成 人事院勧告を尊重し、職員も納得
峯岸克明議員

今回の改正については、激変緩和措置もあり、ラスパレス指数も町村平均を上回っている。職員給与の見直しは、これまでも人事院勧告を尊重して行っており、職員組合とも妥結している。

子どものための教育・保育給付に係る利用者負担額等を定める条例の制定

町の保育料はこれまでどほぼ同額に設定 ……賛成多数で可決

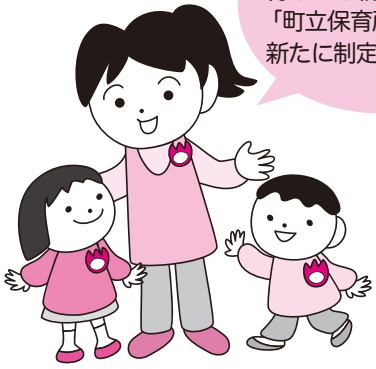
この条例の内容は 4月からスタートする子ども・子育て新制度に対応するため、利用者負担額(保育料)の基準を定めるものです。保育料は、国が定める上限額の範囲内で、市町村ごとに設定され、町の保育料は、国の上限額の平均60%程度となります。

こうなります 保育料の所得階層の基準が、所得税額から町民税額に変わります。

また、保護者の勤務形態の違いにより、保育が必要な時間が「保育標準時間(上限11時間)」と「保育短時間(上限8時間)」の2つの区分に分けられ、保育料がそれぞれ定められます。しかし、新制度の移行による影響を少なくするため、同じ収入ならばできるだけ同じ保育料になるよう設定されます。

反対 新たな短時間保育料の設定も赤字への保障がない
田母神節子議員

保育園で短時間保育の人が増えれば赤字経営だ。そのための保障対策がとられていない。安心して保育所に預けるためには安定した運営をすることが必要。



保育料の納付や延長保育などを新たに定める「町立保育所条例」も新たに制定されました

敬老祝金給付条例の一部改正 喜寿や米寿など、節目で長寿を祝福する制度に ……賛成多数で可決

この条例の内容は 75歳以上の方全員に給付していた祝金ですが、喜寿や米寿などの節目を迎えた高齢者の長寿を祝福することを目的とする制度に改正するものです。また、金額も変更されます。

こうなります 受給資格の年齢と祝金の金額が、これまでの「満75歳〜79歳：5000円、満80歳〜84歳：7000円、満85歳以上：1万円」から「満77歳：1万円、満88歳：2万円、満99歳以上：3万円」となります。

反対 75歳にも支給すべき
田母神節子議員

節目の支給により2500万円の削減。75歳は後期高齢者医療にも加入、節目の中に75歳も加えて支給すべきと考えます。

請願

町道の拡幅工事及び排水路の設置について(継続)
整備手法の見直しで直線化
…全員賛成で採択

この請願の内容は 大字桜沢地内の町道3355線は、幅員が約2mと狭く、暗渠排水のマンホールが露呈した悪路のため、道路改良を求め趣旨で提出され、12月定例会で継続審査となりました。

付託委員会の審査結果 総務経済常任委員会では、「現道をできるだけ直線に近づける拡幅改良を」などの意見があり、採択すべきものと議決されました。

本会議の審議では 全員賛成で採択

暗渠排水…農地などの地下水位を適当な高さにするため、地下の停滞している水の排水に使用される方法。基本的にはコンクリート製の深い排水路と、水をしみ出させる地中管の設置を行います。

ラスパレス指数…地方公務員の給与水準を国家公務員との比較で表わす指数。(経済面で使われる場合は、物価指数の一つを指します)